

3 事業2年目の成果と課題

(1) 本事業による生活リズムに関する児童・生徒の変容	
○ 成果 早起き・早寝・朝ごはんの大切さについて学校やPTA活動をとおして活動や呼びかけをしてきたが、児童も関心が少しずつ高まってきた。また、進んで運動をする児童も増えてきた。	● 課題 生活のリズムの変容については、どうしても家族全員の意識の変容が必要なため、児童だけの指導では難しいところがある。
(2) 「子どもの生活リズム向上」に関する保護者や教職員の意識や取組の変容	
○ 成果 年間をとおして生活のリズムに関する諸活動を実施してきたが、朝食づくりの活動等を実施したことで、一部ではあるが保護者の食生活に対する関心・意識が高まってきた。	● 課題 生活習慣など、生活のリズムに関することに意識の高い保護者と低い保護者との格差が大きい。教職員については、「生活のリズム」と「学力・体力」とを関連づけて指導することを更に研究し、実践していくことが必要である。
(3) 「子どもの生活リズム向上」に関する全保護者や地域住民への普及・啓発に関して	
○ 成果 生活のリズムに関することについて学校だよりやPTA新聞等で呼びかけ啓発してきたことが、保護者・地域にも学校で取り組んでいることが広まり、理解されてきた。	● 課題 学校やPTAでの取組が保護者や地域住民に理解されてきたことが、何らかの形で実践へと結びついて活動できるものがないか考えていきたい。
(4) その他事業全般	
○ 成果 生活のリズム向上については、家庭での生活に関わるのが大きいとため、すぐには変容が難しいところがある。しかし、親子での料理教室や清掃活動等、継続して活動していくことで、一部の児童や保護者ではあるが、意識・取組が少しずつ変容してきたことは喜ばしい。	● 課題 変容がすぐには現れにくいとため、協力・理解が得られにくい。家庭によって経済的なことも含めて格差が年々大きくなってきているように思われる。
(5) 事業3年目（平成22年度）に重点的に取り組みたい内容	
○ 2年目まで取り組んできたことを継続して取り組んでいきたい。PTA活動と連携して実施していくことはどうしても必要なため、今後ともPTA組織を見直しながら、保護者と協力して児童の生活のリズム向上のため活動していきたい。 3年目ということで特別なことは考えていないが、今後とも「早起き・早寝・朝ごはん」の大切さを児童・保護者に呼びかけ実践していくことで生活のリズムの向上をめざしたいと考えている。	